

【 記 載 例 】 ※裏面もご参照ください。

農地法第3条の3の規定による届出書

下記農地（採草放牧地）について、**相続** により **所有権** を取得したので、  
農地法第3条の3の規定により届出をします。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（あて先）千葉市農業委員会会長

連絡が取りやすい番号を記入。

住 所 千葉市中央区〇〇町〇〇番地

氏 名 千葉 太郎

連絡先電話番号 043-〇〇〇-〇〇〇〇

E m a i l \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

記

- 1 権利を取得した者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。）

氏 名	住 所	国籍等	在留資格又は 特別永住者
千葉 太郎	千葉市中央区〇〇町〇〇番地	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

- 2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積 (㎡)	備考
	登記簿	現況		
千葉市 緑区△△町〇〇番	田	田	1000	持分2分の1
千葉市若葉区■●町〇〇番	畑		1000	
以下余白				

現在の状況を記入。作物を作っていない休耕状態の場合は「田(休耕)」  
「畑(休耕)」※経営面積に含まれません。草刈等の保全管理が必要です。

- 3 権利を取得した日

年 月 日 (  登記完了  登記済 ) 相続であれば相続が発生した日(死亡日) 等

- 4 権利を取得した事由

相続  その他 ( 相続以外の場合  
例)法人の合併・分割等

- 5 取得した権利の種類及び内容

・権利の種類  所有権  その他 ( 不耕作の場合でも草刈等の保全管理が  
必要です。)  
・耕作の状況  自作  貸付  不耕作

取得した権利が所有権の場合、使用収益権の設定(見込み)の有無等を記載  
取得した権利が所有権以外の場合は、賃借料、契約期間等を記載

- 6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無  有り  無し

- 7 本届出に係る受理通知書の交付  希望する  希望しない

裏面をご参照ください。

(記載要領)

- 1 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
- 2 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 3 国籍等は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の45に規定する国籍等（日本国籍の場合は、「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。
- 4 権利を取得した者が連名で届出をする場合は、届出者の住所及び氏名をそれぞれ記載してください。また、記の1の「権利を取得した者の氏名等」は必要に応じ、行を追加をしてください。
- 5 記の2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。  
また、持分を取得した場合は、持分を記載してください。
- 6 記の4の「権利を取得した事由」には、  
相続(遺産分割及び包括遺贈を含む)の場合は相続の□にチェックをしてください。  
法人の合併・分割、時効等による権利を取得した場合は、その他□にチェックをし、事由の別を記載してください。
- 7 記の5の「取得した権利の種類及び内容」には、  
取得した権利が所有権の場合、  
現在の耕作の状況、使用収益権の設定(見込み)の有無等を記載してください。  
取得した権利が所有権以外の場合は、  
現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。
- 8 記の6の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について(うち市街化調整区域内の農地のみ)、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを□にチェックをしてください。(希望の場合、千葉市農地銀行への登録申請書を農業委員会から送付させていただき、提出により農地流動化情報台帳に登録。登録期限は受付から3年間、更新申請可)  
※「相続税の納税猶予」、「贈与税の納税猶予」、「農業者年金のうち特例付加年金・経営移譲年金」の対象農地は原則登録ができません。
- 9 必要に応じて、筆別明細書を使用して下さい。
- 10 記の7の「本届出に係る受理通知書の交付」には、農業委員会から本届出に係る受理通知書の交付を希望するかどうかを□にチェックをしてください。